

インドネシア「津波被害者の子どもを対象にした教育支援と精神ケア」(2年度)



又サ村。三方向から押し寄せた津波のうち、正面からは家屋を激しく破壊したが、両側からの波は緩やかで、損壊は最小限度に抑えられたという



再建設された被災者の家(又サ村)



海水が入った水田は、現在も栽培できない状態



2007年1月に行った住民ボランティアの精神ケアトレーニングのようす



夜尿症の男の子(7歳)。13人の子どもに発達障害が認められ、特別なケアが必要とされている



家、人間、木を描く心理テストについて学ぶボランティア(2007年4月)





ボランティアのトレーニングを行う精神分析医のルヒルさん



又サ村の子どもを集めて行われた創造性開発活動(2007年4月)。



熱心にトレーニングに参加するボランティアたち



文字や絵を描いて、水で溶いた紙をのせていく



ボランティアは各自が描いた「家、自分、木」の絵から精神状態を分析し、グループ発表を行った



鉛筆で描いた動物のうえに水で溶いた紙を載せて乾かす





押し花をする子どもたち



子どもたちが描いた水彩画



プラスチックのブロックで組み合わせ遊びをする  
子どもたち



花や自動車などの絵。子どもの精神状態をみる



精神的に不安定な状態と診断された子どもの絵